

授業科目名[英語名]

環境教育・ESD入門 [Basic Seminar of Environmental Education and ESD]

担当教員名[連絡先(TEL,研究室など)]

萩原 豪[099-285-3757]

E-Mail	k6219828@kadai.jp	受講対象	全				
課程区分	共通教育	学科/科目・分野等	教養 3分野	開講期	後期火曜 4	単位等	2

共同担当教員名

教育目標のキーワード

視野・判断力・探求能力/コミュニケーション能力と相互理解

学習目標(学生の達成 目標)

本講義では環境教育やESDの国内外の動向を理解するとともに、環境問題について多角的な視点から考察していく機会を共有します。その中で受講生が自ら行動し、自分の眼と耳と足で、問題を発見・考察・分析・整理・発表するという社会人としての基礎技術を習得することを最終目標としています。受講生には積極的な参加(単なる出席ではなく発言すること)を求めます。なお、情報発信の訓練として、課題等(A4用紙1枚程度)を最低2回提出してもらいます。

授業概要(目的・内容・方法)

前期の「環境教育・ESD入門(1)」で行った研究活動の内容をさらに発展させていきます。環境問題に関する知識だけではなく、「持続可能な社会」を作るための実践を重視するため、受講生自らが行動をしていってもらいます。

具体的には各WGで提案した企画書を、実現させていくために実践活動を行います。いずれのWGにおいても、提案した企画を実施することは並大抵のことではありません。本講義の履修者だけでなく、学内外から協力者を得る必要があると思います。そのためWGでは第三者に活動の内容と意義を理解してもらえ、また協働してもらえよう形の企画書を作成することが求められています。

具体的な活動例としては、大学祭への出展などが挙げられますが、各WGのテーマなどを総合的に判断して決めていきたいと思っています。年度末にWGの活動および成果の最終報告会を行います。

授業計画(15回に分けて、回数、日付、授業内容、授業外活動など)

第1回目の授業はガイダンスを行い、各WGの活動目標と今後の活動スケジュールについて明確化してもらいます。その後は以下の流れで進めていく予定です。

- ・ガイダンス
- ・WGの研究活動の報告および実践に対する企画書の検討作業
- ・中間報告
- ・実践活動
- ・最終報告(プレゼンテーション)
- ・報告書作成

受講要件 本講義のテーマに関心を持ち、自らが「持続可能な社会」に対する活動を実践したいと思っていること。前期からの継続履修が条件。

評価基準および方法 授業態度30%、課題等提出物30%、グループワーク40%で総合的に判断します。出席が総授業数の3分の2未満の場合、または最終レポートの提出がない場合は、評価対象外とします。

教科書	教科書は使用しません。必要な資料は毎回の授業で配布します。課題作成のために必要な書籍は別に指定します。	参考書	阿部治・野田研一監修『あなたの暮らしが世界を変える 持続可能な未来がわかる絵本』山と渓谷社、2007年。今村光章編『持続可能性に向けての環境教育』昭和堂、2005年。日本環境教育フォーラム編著『日本型環境教育の提案』小学館、2000年。書籍・新聞・雑誌・マンガ・映画・webなど、日常生活に関することを幅広く取り上げていきます。
授業時間外対応(オフィスアワー、授業後、学習シートなど)	【オフィスアワー】毎週木曜日4時限目 基本的にメールでの対応を主としますが、直接の面談も歓迎します。オフィスアワーでの面談については、できるだけ事前にメールでアポイントをとるようにしてください(ダブルブッキングを避けるため)。	その他	授業運営の関係から、受講者数は35名以内に制限します。前期の「環境教育・ESD入門(1)」と合わせて履修することを条件とします。履修希望者は前期の第1回目の授業に出席してください。原則として後期のみ履修は認めません。詳細については稲盛アカデミーのウェブサイトを参照してください。(http://www.inamori-academy.jp)